

和歌山県教育功労者・優秀教職員知事感謝状受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に携わり献身的活動を続け、その功績が特に顕著である学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に感謝状を贈呈する。

きた やま まさ ひこ
北 山 匡 彦

和歌山市立野崎西小学校 学校医

《主な功績》 平成3年4月から現在に至るまで、学校医として33年9月の長きにわたり、定期健康診断及び学校保健会に従事し、児童の健康管理に尽力した。また、和歌山市医師会学校医部会の評議員及び高校心電図判読委員を務めるとともに、学校医部会の運営に尽力し、講演会等に積極的に参加するなど、学校医として学校保健に貢献した功績は多大である。

やま さき かず お
山 崎 一 夫

海南市立海南中学校 学校歯科医

《主な功績》 平成6年4月から現在に至るまで、学校歯科医として生徒の歯と口の健康管理のため、献身的・精力的に検診及び指導助言を行うなど、健康づくりの推進に寄与した。また、海南歯科医師会において、会長及び副会長などの要職を歴任し、海南歯科医師会の充実に尽力するとともに、海南市における学校保健活動にも積極的に従事するなど、こどもの歯と口の健康の保持・増進等に貢献した功績は多大である。

すみ た まさ や
角 田 昌 也

海南市立下津小学校 他1園 学校医／園医

《主な功績》 平成8年4月から現在に至るまで、学校医（園医）として、園児・児童の健康管理、健康の保持・増進のため、精力的に検診及び指導助言を行うなど、保健活動の充実に尽力した。また、海南医師会学校医部会長として、その職務に精励し、海南医師会の発展に貢献するとともに、海南市における学校保健活動にも積極的に従事するなど、地域全体の医療充実に尽力した功績は多大である。

たけ うち のぶ や
竹 内 伸 也

由良町立由良中学校 学校医

《主な功績》 平成3年4月から現在に至るまで、学校医として生徒の定期健診や予防接種業務に従事するとともに、校内の健康安全管理の充実や保健衛生の向上に尽力した。また、日高医師会事業として実施した生徒の生活習慣病予防検診にも積極的に参画し、担当校において、健診や事後措置を通じて健康増進と生活習慣との重要な関係について啓発を行うとともに、学校における喫煙防止出前授業にも積極的に従事するなど、生徒の健康管理及び保健衛生の向上に尽力した功績は多大である。

おお え まさ ふみ
大 江 雅 文

上富田町立朝来小学校 学校歯科医

《主な功績》 平成5年4月から現在に至るまで、学校歯科医として児童の歯科検診及び相談を実施し、健康管理面において的確な指導助言を行い、児童の虫歯予防など健康増進に尽力した。また、上富田町保健事業に対し口腔保健衛生に関する深い知識と情熱を持って、歯科疾患に関する助言を行うなど、上富田町の歯科保健の向上に貢献した功績は多大である。

やま もと りょう
山 本 良

和歌山県立神島高等学校 他5校・4園 学校医／園医

《主な功績》 平成10年4月から現在に至るまで、学校医（園医）として献身的に生徒の健康診断、健康管理を行うなど、健康教育の推進に寄与した。また、和歌山県眼科医会及び田辺市医師会の理事等の役職を歴任し、その職務に精励し、田辺市に限らず、県全体の学校保健向上に貢献した功績は多大である。

《社会教育部門》

長年にわたり、社会教育活動に携わり献身的活動を続け、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した功績が特に顕著である方々に感謝状を贈呈する。

●個人の部

つじ
辻

とし
敏

ひろ
弘

和歌山県社会教育委員連絡協議会 会長

《主な功績》

平成17年5月より通算7年間、和歌山県社会教育委員連絡協議会理事を、平成28年5月から現在まで同会長を務め、県内各市町村社会教育委員への研修等を企画・運営し、平成30年9月に開催された近畿地区社会教育研究大会（和歌山大会）を成功させるなど、社会教育委員の資質向上に寄与した。また、自らも率先して全国社会教育研究大会等の研修会に参加し、他府県の取組や社会教育に関する情報を収集するなど、本県社会教育の振興のため献身的に尽力した。さらに、海南市社会教育委員会会議議長、和歌山県青少年育成推進委員会連絡協議会会長等を務め、青少年問題全般に対しても造詣が深く、常に広い視野で的確な意見を述べるなど、本県における青少年の健全育成並びに社会教育の推進に貢献した功績は多大である。

た
田

がみ
上

ひで
英

かつ
勝

和歌山県軟式野球連盟 学童部長

《主な功績》

昭和53年から現在に至るまで、紀伊少年野球クラブの代表として活動するとともに、その間、和歌山市軟式野球連盟学童部の副部長、部長及び和歌山県軟式野球連盟学童部事務局長、学童部長など要職を歴任し、県軟式野球全般の中心人物となって組織の充実及び競技力の向上に大いに尽力した。また、県軟式野球連盟学童部、同連盟の役員及び審判員の総指揮をとるとともに、和歌山県スポーツ少年団本部副本部長、軟式野球競技専門部長としても活躍するなど、幅広く児童生徒の健全育成のため貢献した功績は多大である。

ふじ
藤

もと
本

せい
清

じろう
二郎

和歌山県立博物館協議会 会長

《主な功績》

平成18年4月から和歌山県立博物館協議会委員、平成22年4月から同協議会会長に就任し、同県立博物館の運営に積極的に関与するとともに、専門的な見地から意見を述べるなど、本県社会教育の進展に大きく貢献した。また、日本近世史、賤民史、民衆史を専門分野として、和歌山大学教育学部で長年教鞭を執り、県内に多くの社会科教員を輩出するとともに、和歌山市史をはじめ貴志川町史、かつらぎ町史などの編纂にも長年関わっている。さらに、和歌浦天満宮や玉津島神社をはじめ、県内の寺社に残る文化財にも精通し、その広い見識に基づいた教示によって本県文化財行政の発展に尽力した功績は多大である。

●団体の部

ボランティアグループ ブック・ブック

代表：濱野^{はまの} 小夜子^{きよこ} 所在地：新宮市

《主な功績》 平成12年度に発足した「新宮市立図書館百周年記念事業実行委員会」を母体として平成14年度に設立後、読書活動を推進するため、新宮市立図書館での定例おはなし会、おすすめ絵本ポスター作成への協力、学校での読み聞かせなど、関係機関と連携し、こどもの読書機会の提供に尽力している。また、図書館の庭の手入れ、書架整理、本の修繕を継続して行い、運営協力を通して読書環境の整備を図るなど、地域の読書文化の振興と向上に貢献した功績は多大である。

しおつ おどり ほ ぞんかい 塩津のいな踊保存会

会長：南方^{みなかた} 嘉門^{よしかど} 所在地：海南市

《主な功績》 塩津のいな踊は、毎年8月15日に和歌浦湾に面する海南市下津町塩津の蛭子神社前で行われる盆踊りである。定置網のなかでイナが勢いよくはね踊るかのような、活発な踊りを基本とし、力強く素手を振り上げ踊る「手踊り」のほかに、両手に日の丸扇を持って踊る「扇踊り」、男女二人一組で踊る「姿見踊り」などがあり、漁村ならではの趣向に富んだ踊りを披露する塩津地区では毎年欠くことのできない行事として大切にされ、昭和42年に和歌山県指定無形民俗文化財に指定されている。保持団体である塩津のいな踊保存会は、伝統芸能の保存・継承を長年にわたって地域を挙げて取り組み、活動歴は50年を超える。いな踊を後世に長く伝えていくために、継承用の動画配信や、小学生を対象とした伝承教室を開催するなど、地域文化の担い手づくりや、郷土の歴史文化に触れる機会を積極的に確保し、本県の伝統文化の向上と発展に貢献した功績は多大である。

《優秀教職員》

長年にわたり、本県学校教育の振興に貢献し、その功績が特に顕著である教職員の方々に感謝状を贈呈する。

きり やま とも あき
桐 山 知 明

海南市立亀川小学校 校長

《主な功績》

総合的な学習の時間におけるICTを活用した授業研究や、小学校外国語活動の指導計画作成・指導方法の研究に尽力した。令和2年度からは小学校の校長として、地域とのつながりや人権感覚を大切にした教育活動を推進している。また令和6年度には、勤務校がリーディングDXスクールの指定を受け、日常的な授業での端末活用や校務のデジタル化、生成AI活用の取組などを公開し、県内のICT教育の推進に貢献している。

まえ だ み き
前 田 美 紀

橋本市立城山小学校 校長

《主な功績》

所属校の研究主任として、組織的な校内研究の中心的役割を果たすとともに、児童の家庭学習と生活習慣の確立を推進し、授業改善とともに学力向上につなげる実践研究を行った。平成30年度から小学校の教頭、校長を歴任し、令和5年度からは現職として、児童が主体的に活動することを大切にした教育活動を実践した。また、「すべてのこどもをすべての教職員で」を合言葉に教職員が一丸となる学校運営や、地域とともにある学校づくりをめざした取組を推進している。

な はら のぶ こ
名 原 伸 子

和歌山県立有田中央高等学校 教諭

《主な功績》

総合学科福祉系列を設置し、介護福祉士の受験資格を得ることができる県内唯一の県立高等学校である同校において、本県初の福祉教育カリキュラムの構築や資格取得の準備、授業研究、現場実習の講師を務めるなど、多方面において研究を深め、福祉教育の発展に貢献した。文部科学省教科用図書検定調査審議会の専門委員や厚生労働省「介護福祉士養成課程における教育内容の見直し」検討チームに選出されるなど、本県以外においても福祉教育の発展に大きく貢献した。

にし むら ただし
西 村 匡

和歌山県立新翔高等学校 教諭

《主な功績》

県立学校等生徒指導部長会議で講師を務めるなど、県内における生徒指導力の向上に貢献した。また、特別支援学校での勤務経験を生かし、学習面や生活面で支援を要する生徒に、個別のソーシャルスキルトレーニングや補習を行い、集団生活で必要となるスキル向上と基礎学力の定着に寄与した。生徒指導、教育相談等に係る外部人材を積極的に活用しながら、現職教育を意欲的に企画・運営し、教員の資質・能力の向上に貢献した。

《主な功績》

県内で初めて複数の障害（知的障害、肢体不自由）に対応する学校として開校したきのかわ支援学校において、開校当初から、栄養バランスや安全に食べられる食物形態、アレルギー対応等、障害の特性や個々のニーズに応じた給食の提供に尽力してきた。給食に使用する食材の栄養や産地についての情報提供、咀嚼による健康効果を伝える「かむかむ給食」の実施などにより、食への関心を引き出すことで、食育推進に大きく貢献している。

和歌山県教育委員会功労賞受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に積極的に取り組み、学校保健向上に尽力した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に表彰状を授与する。

さか い てつ じ
阪 井 哲 司

和歌山市立宮前小学校 他 1 園 学校薬剤師／園薬剤師

《主な功績》

平成 12 年 4 月から現在に至るまで、学校薬剤師（園薬剤師）として、学校における環境衛生の向上を目指し、専門的指導を行い、児童生徒の健康保持・増進に尽力した。また、和歌山市薬剤師会会長として後進の指導にも大きく携わるなど、学校保健活動に尽力した功績は誠に顕著である。

かわ ばた ひろし
川 端 寛

和歌山市立貴志南小学校 他 1 園 学校医／園医

《主な功績》

平成 9 年 4 月から現在に至るまで、学校医（園医）として定期健康診断等に従事し、園児・児童の健康管理に尽力した。また、平成 24 年 5 月からは和歌山市医師会学校医部会役員を勤め、学校医部会員として講演会等に積極的に参加し、学校医として日々研鑽に励むなど、学校保健活動に尽力した功績は誠に顕著である。

い うち ひろし
井 内 洋

海南市立北野上小学校 他 1 園 学校歯科医／園歯科医

《主な功績》

平成 8 年 4 月から現在に至るまで、学校歯科医（園歯科医）として、献身的・精力的に園児・児童の健康管理、健康の保持・増進のための検診及び指導助言を積極的に行い、学校・家庭・学校歯科医が一体となって園児・児童の健康づくりを推進する気運を高めた。また、平成 6 年 4 月から海南学校歯科医師会理事や和歌山県学校歯科医師会理事、和歌山県学校歯科医師会副会長などを歴任し、その職務に精励するなど、海南市における学校保健活動及び園児・児童の健康の保持・増進等に貢献した功績は誠に顕著である。

はし づめ よし こ
橋 爪 慶 子

有田市立有和中学校 学校薬剤師

《主な功績》

昭和 55 年 4 月から現在に至るまで、学校薬剤師として、学校の環境衛生検査等に従事し、児童生徒の健康管理及び健康教育に尽力した。また、各種委員会や研修会に積極的に参加し、児童生徒の健康管理のため、学校への指導助言を行うなど、学校保健・健康教育の発展向上に貢献した功績は誠に顕著である。

おお たに ま り こ
大 谷 真理子

有田市立宮原小学校 学校歯科医

《主な功績》 平成8年4月から現在に至るまで、学校歯科医として、定期健康診断や就学時検診等に従事し、児童生徒の健康管理及び健康教育に尽力した。また、各種委員会や研修会に積極的に参加し、児童生徒の健康管理のため、学校への指導助言を行うなど、学校保健・健康教育の発展向上に貢献した功績は誠に顕著である。

いえ なが のぶ ひこ
家 永 信 彦

御坊市立塩屋小学校 他1園 学校医／園医

《主な功績》 平成7年4月から現在に至るまで、学校医（園医）として児童生徒の定期健康診査や予防接種業務に従事するとともに校内の健康・安全管理の充実や保健衛生観念向上に尽力した。また、児童生徒の生活習慣病予防検診や喫煙防止出前授業にも学校医として積極的に取り組むなど、学校保健・学校安全活動推進に指導的役割を果たした功績は誠に顕著である。

よし かわ ひろ ゆき
吉 川 博 之

和歌山県立海南高等学校大成校舎 学校医

《主な功績》 平成13年10月から現在に至るまで、学校医として生徒の健康診断、健康管理等に尽力した。また、生徒の健康増進のため、必要な指導及び助言を積極的に行うとともに、教職員に対しても健康管理の重要性を説くなど、学校保健及び学校安全向上に貢献をした功績は誠に顕著である。

との え おさむ
外 江 理

和歌山県立有田中央高等学校 学校医

《主な功績》 平成11年4月から現在に至るまで、学校医として健康診断等を通して生徒の健康管理に精力的に取り組むとともに、専門的知識及び学校保健に対する見解を生かし、学校への指導助言や生徒の健康保持に尽力した。また、地域医療に積極的に取り組み、学校保健教育の進展に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

いわ がみ よし のぶ
岩 上 好 伸

和歌山県立田辺工業高等学校 学校歯科医

《主な功績》 平成6年5月から現在に至るまで、学校歯科医として児童生徒の歯科検診を通して、歯科保健について適切な指導助言や口腔状態などの健康管理に努めた。また、虫歯予防や口腔衛生教育にも積極的に取り組み、学校保健教育の進展に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

みなみ あき お
南 晶 夫

和歌山県立熊野高等学校 学校歯科医

《主な功績》 平成8年4月から現在に至るまで、学校歯科医として子どもたちの検診・相談を実施し、健康管理面において、的確な指導や助言を行った。また、学校保健衛生の推進のみならず、町保健事業に対しても幅広い助言をされるなど、健康増進に尽力した功績は誠に顕著である。

《社会教育部門》

社会教育活動を継続して行い、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した方々に表彰状を授与する。

●個人の部

おおにしとしお
大西利雄

岩出市社会教育委員

《主な功績》

平成13年4月から現在に至るまで、岩出市社会教育委員として社会教育に関する助言や計画の策定等において中心的な役割を担い生涯学習の振興に寄与した。また、岩出市青少年育成市民会議本部委員として青少年健全育成に関する啓発活動や地域への呼びかけ、岩出市図書館協議会委員として図書館事業の推進、岩出市放課後子どもプラン運営委員会委員長として放課後子ども教室の振興、地域でのボーイスカウト活動を行うなど、こどもの居場所や活動の充実にも精励し、幅広い分野で地域における社会教育の振興に貢献した功績は誠に顕著である。

もりぐちよしゆき
森口佳幸

和歌山県立伊都中央高等学校 P T A会長

《主な功績》

平成26年5月に伊都高等学校でP T A副会長に就任。平成27年5月から現在に至るまで、伊都中央高等学校P T A会長として、地域の見回りや補導活動ボランティア活動に積極的に参加し、こどもたちの成長を見届け、励まし続けている。また、令和3年の創立100周年事業開催の際には、地域や保護者等と連携し事業を成功に導くなど、P T A活動に尽力した功績は誠に顕著である。

かどていじ
門悌次

和歌山県ローイング協会 副会長

《主な功績》

和歌山県漕艇協会の理事長、和歌山県ボート協会理事長、和歌山県ローイング協会副会長等の役職を歴任し、指導者としても、平成18年のアジアジュニア選手権大会男子ダブルスカルで第1位、同年世界ジュニア選手権大会男子ダブルスカルで16位入賞に導くなど、国内に留まらず国際大会でも活躍する選手を育成した。また、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）開催の際には、和歌山県内に共同の艇庫がなかったことから、さらなる競技力向上と普及には艇庫が必要であると考え、現在の「紀の国艇庫」の設置に尽力するなど、本県におけるローイングの競技力向上や普及・発展に貢献した功績は誠に顕著である。

●団体の部

ねごろ こもりうた ほぞんかい 根来の子守唄保存会

会長：小倉 し の ぶ 所在地： 岩出市

《主な功績》

根来の子守唄は、古く江戸時代の昔から歌い始められたものと推考され、根来寺を中心に紀の川筋一帯と、南は有田地方まで歌い継がれてきたものであり、歌詞もその多くは根来寺に関連のあるものが歌い込まれて、その歴史が語り継がれている。本子守唄を保持する根来の子守唄保存会は、文章・挿絵をはじめ編集・発行まですべて保存会メンバーの手により作成した小冊子「根来の子守唄 今むかし」の配布や、岩出市や地域の人との共同で民話や伝承のほか、童謡や落語、歴史講談、音楽劇などとコラボし、ふるさとに伝わる根来の子守唄の発信を行う「ふるさと感動物語」の活動など、子守唄の保存・継承に精力的に取り組んでいる。同保存会の活動を通じて、地域文化や郷土の歴史文化の継承や学習機会の確保など本県の伝統文化の向上と発展のため貢献した功績は誠に顕著である。

よこはま し し まい ほぞんかい 横浜の獅子舞保存会

会長：尾崎 孝明 所在地： 由良町

《主な功績》

横浜の獅子舞は、日高郡由良町里に鎮座する宇佐八幡神社において毎年10月の第3日曜日に行われる秋祭りに奉納される。本獅子舞は、江戸時代の初めにまで遡るといい、九州の長崎で舞われていた獅子舞が由良の船乗りによってこの地に伝えられたものと言われている。横浜の獅子舞は、二人立ちの獅子舞で、牡丹の花に戯れる「牡丹見の舞」、遊び疲れ眠気を催した獅子にまとりつくアブを払う「うたた寝の舞」、目が覚め大きく伸び上がって四方の景色を眺める「遠見の舞」の3曲で構成される。また、獅子を囃す太鼓や鉦（かね）などは小学生がたたき、獅子舞は高校生をはじめとした青年が演じるなど役割が分担され、現在まで継承されている。本芸能を保持する横浜の獅子舞保存会は、県内外の民俗芸能公演にも出演し、新たな層への普及に尽力している。獅子舞に用いる道具や衣装を良好な状態で保管・維持するとともに、獅子舞を奉納する1ヶ月前から練習を始めるなど、獅子舞の保存・継承に精力的に取り組んでいる。同保存会の活動を通じて、地域文化の担い手づくりや郷土の歴史文化に触れる機会が保たれており、本県の伝統文化の向上と発展に貢献した功績は誠に顕著である。

おはなしボランティア きいちご

代表：田中^{たなか} のり子^こ 所在地：和歌山市

《主な功績》

平成8年4月から現在に至るまで、県立図書館や和歌山市内の学校、保育園での絵本等の読み聞かせを継続して行っている。また、定期的に会員の研修を行い、絵本等読み聞かせの知識や技術の研鑽に努めている。後にこれらで培った知見をもとに新たに乳幼児向けのおはなし会の実施など活動範囲を広げたほか、活動に興味を持つ人を広く団体に受け入れ、養成を行うことで、新たな読書活動の担い手の育成にも取り組んでいる。他にも、活動の節目には誰もが参加できる講演会等を開催し、絵本や読書の楽しさを地域に伝える活動を行うなど、地域の読書文化の醸成に貢献した功績は誠に顕著である。

《教育行政部門》

本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献した市町村の教育長及び教育委員の方々に表彰状を授与する。

さ たけ まさ あき
佐 武 正 章 前 田辺市教育委員会 教育長

《主な功績》 平成30年7月から長きにわたり、田辺市教育委員会教育長として子どもたちの学習環境改善・充実に取り組むとともに、和歌山県の森林や林業について学習する森林環境教育や、農業体験や食育を通じSDGsとの関連や地域との連携を深める農業体験学習に取り組むなど、子どもたちが地域の良さを知り郷土への誇りや関心を深めることができるよう、地域と連携した取組を展開した。また、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の蔓延時期にあっては、全国的に学校教育活動や生涯学習活動が多大な影響を受ける中、田辺市における教育活動を停滞させることなく事業が展開できるよう力を注ぐなど、教育の振興・発展に貢献した功績は誠に顕著である。

まつ もと もり のぶ
松 本 守 信 元 紀美野町教育委員会 委員

《主な功績》 平成24年12月から紀美野町教育委員会委員として紀美野町の教育行政の発展に尽力し、特に中学校の適正規模化に関して保護者の立場から貴重な提言を行うなど、紀美野中学校開校への大きな推進力となった。また、町立小中学校育友会、地区自主防災組織、学校運営協議会などの会長職を担い、「総合防災訓練」を地域及び学校と共同開催し、地域と学校の橋渡しの役割を担うなど、教育の振興・発展に貢献した功績は誠に顕著である。

で ぐち かず ゆき
出 口 和 幸 美浜町教育委員会 委員

《主な功績》 平成25年10月から現在に至るまで、美浜町教育委員会委員として、子どもたちの学習環境の充実と学習意欲の向上、心身の健全な成長と発達を信念とし、教育行政の充実発展に尽力した。また、警察官として県民生活の安全と平穏、地域社会の安定に貢献してきた知識と経験を活かし、強い責任感と行動力、卓越した指導力を発揮し、美浜町の幼児教育・保育、学校教育、社会教育等の振興・発展に貢献した功績は誠に顕著である。

やま した のぶ こ
山 下 伸 子 元 印南町教育委員会 委員

《主な功績》 平成24年12月から印南町教育委員会委員としてこども園・小学校・中学校における、幼児教育から学校教育への連携・接続を図る義務教育12か年事業や、幼児期からの英語教育の重要性等について、積極的に提言を行った。また、教育施設への空調設置や小学校トイレ改修等の施設整備や学校の適正規模等について、現代のこどもたちを取り巻く環境から、その必要性について言及し、地域共育コーディネーターを経験した立場から助言を行うなど、教育の振興・発展に貢献した功績は誠に顕著である。

わき の
脇 野 かほり 印南町教育委員会 委員

《主な功績》 平成24年6月から現在に至るまで、印南町教育委員会委員として、いなみこども園に関わる事業、空調の設置、学校の適正規模等、教育行政に関する重要な事項について、38年間の小学校教諭の経験を活かし、積極的に提言を行うなど、教育行政の充実発展に尽力した。また、地域のセーフティガードとして、通学しているこどもたちの見守りや、家庭教育委員として、子育てサークルで教育相談を行うなど、教育の振興・発展に貢献した功績は誠に顕著である。

きのくに教育賞受賞者

本県学校教育において、特に優れた教育実践を行い成果を上げていると認められる教職員の方々に表彰状を授与する。

《小学校の部》

かとう ひさよし
加藤 久 佳

和歌山市立川永小学校 教諭

《主な功績》

道徳教育を中心に、研究と実践を熱心に重ね、各教科等と特別の教科道徳との関連を意識した取組を行っている。平成28年度全国小学校道徳教育研究会第36回夏季中央研修講座や県教育委員会が主催する「令和5年度道徳教育研修講座」において、実践発表を行うなど、取組の成果を広く普及した。

和歌山市道徳教育研究会に所属し、当該市の道徳教育においてリーダー的な役割を担っている。特別の教科 道徳の指導について研究する学校から依頼を受け、協力者として研究授業の教材研究等に関わり、授業者に助言を行うなど、授業力向上に寄与している。

平成28年度和歌山県教育センター学びの丘長期研修員として、『考え、議論する』道徳授業を目指す学習展開」をテーマに研鑽を積み、1年間の研究成果を発表した。

学級経営において、4月の指導を特に大切にし、学級の土台を作っている。また、一人一人の児童の状況を丁寧に把握し、個に応じたきめ細かな支援を行うため、児童や保護者からも信頼されている。

でぐち りか
出口 里 佳

御坊市立塩屋小学校 教諭

《主な功績》

児童が主体的に学習に取り組み、考えを伝え合う楽しさを感じられる授業づくりに努め、児童が自分の意見を発表するだけでなく、相手の考えを聞いて自分の考えと比べたり、相手の思いを受け止めて話したりするといった、伝え合う力の育成に尽力している。

研究主任として校内研究授業を率先して行い、「伝え合う力の向上」を主題にした授業づくりや学級づくりの研究を推進している。また、教員がより積極的に意見を出し合えるラウンドスタディ方式の研究協議会の設定や、所属校の課題に応じた外部講師の招聘など、研究推進のリーダーとして中心的な役割を担っている。

特別支援学校との交流及び共同学習を行うモデル研究において、特別支援学校教員と連携しながら、授業案の作成、授業の実施及びその評価に関する取組を進めている。両校の児童が触れ合い、互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会を設定することで、児童の豊かな人間形成に寄与している。

個に応じた指導を意識し、児童が安心して過ごせる学級経営を行っている。また、家庭と協力して児童の成長を支援していこうとする姿勢が、保護者からの信頼を得るとともに、若手教員の模範となっている。

きの した ひと み
木 下 仁 美

新宮市立王子ヶ浜小学校 教諭

《主な功績》

一人一人の児童の状況を把握したきめ細かな指導と、学習規律が整うことによる落ち着いた学級経営に定評があり、校内における若手教員の育成にも力を注いでいる。

県教育委員会が作成した「きいちゃんと学ぶ！国語マスター問題集」の作成協力者として、家庭学習の充実を図るための実践事例を提供するとともに、国語科授業を研究する教員のネットワークを構築し、児童の学力向上に寄与した。

令和元年度「学力向上コアティーチャー養成・活用事業」に参加し、秋田県での実地研修において学んだことや、自身の実践を、東牟婁地方授業づくり研究会で報告することなどを通して、当該地方の教員の指導力向上に貢献している。

令和4年度から現職教育主任を務め、「伝え合う力の育成」に向け、「和歌山の授業づくり 基礎・基本3か条」や思考ツールを取り入れた授業づくりを提案している。また、県教育センター学びの丘が主催する「令和6年度マネジメント力向上研修」を受講し、自身の専門性を高めるとともに、所属校における組織的な教育活動の中核として活躍している。

《中学校の部》

よし ひさ よう こ
吉 久 容 子

橋本市立橋本中央中学校 教諭

《主な功績》

生徒の主体性を大切にしながら、意見を発表することや書くことを重視した丁寧な学習指導を行っている。ICT機器の活用、ペア学習やグループ学習を取り入れた授業づくりなど、生徒の課題を見据え、付けた力を明確に持ちながら、指導方法の改善に取り組んでいる。

毎時間3文程度の短い文章を書く活動を行うなど、書くことに注力した授業実践を行うとともに、当該市の国語教育において、文学的文章や説明的文章に焦点を当てた研究授業を行うなど、生徒の学力向上のために、積極的に研究と実践を重ねている。

県教育委員会が主催する「指導力向上に係る研修（中学校国語科）地方別研修」に伊都地方の代表として参加し、「話すこと・聞くこと」の提案授業を実施した。当該地方の国語教育推進の中心的な役割を担い、県内の国語教員の指導力向上にも貢献している。

学年主任としてリーダーシップを発揮し、積極的に若手教員とも関わり、常に前向きに取り組む姿は多くの教職員の模範となっている。また、学習面や生活面におけるきめ細かい指導や配慮から、生徒や保護者からの信頼も厚い。

お う え た か ゆ き
尾 上 誉 幸

岩出市立岩出第二中学校 主幹教諭

《主な功績》

数学の指導において、ICT機器を効果的に活用し、学習に苦手意識のある生徒が問題解決の見通しを持てる授業づくりを行うとともに、生徒一人一人の学習状況の把握に努めるなど、誰一人取り残すことのない授業を目指して、自己研鑽に励んでおり、その姿は他の教員の模範となっている。

所属校では、学力向上担当として、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、ペア学習やグループ学習等を効果的に取り入れるとともに、学校全体で学習規律を整えるなど、授業改善の推進の要となっている。

平成30年度「学力向上コアティーチャー養成・活用事業」に参加し、秋田県での実地研修を通して、学習指導や研究体制等について学んだ。また、研修後は、他教科との連携や学力向上に向けた分析を行うとともに、校内で学力向上研修、若手教員向けの研修会及びICT研修会を月に1回行い、授業改善や若手教員の育成にも力を注いでいる。

県教育委員会が主催する「令和5年度指導力向上に係る研修会（中学校数学科）」において、中核教員として、那賀地方に勤務する数学科の教員を対象に公開授業を行い、当該地方の数学教員の指導力・授業力の向上に寄与した。

《高等学校・特別支援学校の部》

にし ぐち み わ こ
西 口 美和子

和歌山県立和歌山東高等学校 教諭

《主な功績》

同校が文部科学省「高等学校における発達障害支援モデル事業」の研究指定を受けていた期間に赴任し、当研究に携わることで様々な視点からの教育実践を理解し、研究指定終了後は、この支援モデルを同校に根付かせようと長年にわたり尽力してきた。特に、保健・人権・特別支援教育部の中心として、教育相談の体制や特別支援教育の在り方などに対し教職員の意識改革を進めるとともに、「個別指導と全体指導」の調和を取りながら、生徒への細やかな指導体制と教職員間でのサポート体制を確立してきた。現在は保健・人権・特別支援教育部長として、学校全体の運営に力を発揮している。

保健体育の授業を通して、すべての生徒に運動の魅力を伝え、積極的に運動に参加できるような工夫をするなどし、生徒たちの人間力を向上させるための教育を実践している。

オリンピック出場の経験を生かし、フェンシング部顧問として卓越した指導力を発揮し、多くの生徒を全国大会出場に導いてきた。なかでも全国高等学校総合体育大会では個人優勝、団体上位入賞を果たし、さらには世界大会に出場した生徒を輩出するなど、フェンシング競技の普及、競技力の向上に尽力している。

やま もと
山 本

まなぶ
学

和歌山県立桐蔭高等学校 教諭

《主な功績》

現任校において、進路指導部長、運営委員長およびFDキャリア教育推進部長（現キャリア教育推進部長）を歴任し、学校全体の運営だけでなく、同校教育の根幹をなすキャリア教育の推進に大きく貢献している。

同校が平成25年度に文部科学省からキャリア教育研究開発学校の指定を受けた際、進路指導部長として、冊子「桐蔭の学び」の編集に中心的に携わり、新入生に対してその冊子を活用して行うアセンブリー「桐蔭の学び入門」を企画、立案、実行した。

FDキャリア教育推進部長として、地元企業や大学から外部講師を招聘する「桐蔭リーダー塾」や「桐蔭総合大学」の企画運営を行うとともに、同校における新たな普通科の教育システムの構築に携わり、生徒の進路希望実現の桐蔭モデルとなる「系選択」の導入の中心メンバーとして尽力した。現在は、総合的な探究の時間での探究活動とキャリア教育を融合した桐蔭モデル作成の中心的な役割を果たしている。

令和2年度に開催された、県教育委員会主催の「進路指導部長会議」や「ミドルリーダー育成研修」において、同校の取組を実践発表することで、本県高等学校におけるキャリア教育の推進に貢献した。

しのうひろみつ
小竹博允

和歌山県立田辺高等学校 教諭

《主な功績》

平成29年度よりユネスコスクールに加盟している同校において、ESD推進室長を務め、総合的な探究の時間を中心に「地元で学び、持続可能な社会づくりに取り組む態度を育む」をテーマとして系統的・継続的な探究活動に取り組み、ESD（持続可能な開発のための教育）の推進に貢献した。

探究活動の深化のため、学校から地域に飛び出す活動を積極的に進める中で、生徒と地域との橋渡し役を担い、地域が抱える課題解決に向けた活動にも寄与している。

探究活動に関する現職教育を定期的に実施し、学校全体で探究活動を通じ生徒のキャリア形成につなげる機運の醸成に貢献している。

生徒の自主的な学びの集団である「SEEKER」を結成し、総合的な探究の時間での学びをさらに発展させた取組を支援し、地域での発表や各種コンテストに出品するなど、成果をあげている。また「福島防災スタディツアー」、「東京データサイエンスツアー」等、生徒が主体的に参加できる新たな企画・運営に尽力している。

もんばやしみちお
門林三千生

和歌山県立和歌山商業高等学校 教諭

《主な功績》

学年主任や特別活動部長、生徒指導部長を歴任し、学校運営の中核を担い、特に生徒指導面において成果を上げている。NITS（独立行政法人教職員支援機構）主催の令和3年度「学校組織マネジメント研修」の受講により、同校の教育目標の具現化をマネジメントし、その組織的な推進に貢献した。

NITS（独立行政法人教職員支援機構）主催の令和6年度「生徒指導基幹研修」の受講により、コミュニケーションが苦手な生徒に対して、粘り強く対応し、生徒たちの人間関係における問題を解決に導く指導で成果をあげている。さらに、校内研修の講師を務め、生徒指導に係る組織としての対応力向上に大きく寄与した。

相撲部の顧問を務め、第37回全国選抜高校相撲弘前大会団体戦優勝、令和5年度全国高等学校総合体育大会個人戦優勝、令和6年度全国高等学校総合体育大会個人戦・団体戦優勝に導いた。また、小学生相撲の指導を行い、地域貢献に努めている。

「2024世界相撲選手権」では、日本ジュニアの代表監督を務め、個人戦各階級、男女団体戦での優勝に貢献した。

かとう
加藤 さつき

和歌山県立貴志川高等学校 教諭

《主な功績》

生徒指導・教育相談において、長年、勤務校で中心的な役割を担ってきた。様々な課題を抱えている生徒に対して、豊富な経験や知識を元に、適切なアセスメントを行っている。また、スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャルワーカー、関係諸機関等との連携を密にとりながら、生徒の卒業後のサポート体制の構築にも力を入れている。

特別支援教育の視点から生徒の心に寄り添った指導・支援の大切さに重きを置いた指導をしている。授業力向上や指導力向上にも取り組み、他の教員の模範となっている。

「令和4年度公認心理師認定講習」、「令和6年度教育職員免許法認定講習（特別支援学校教諭二種免許）」、NITS（独立行政法人教職員支援機構）主催の「令和3年度教職員等中央研修第5回中堅教員研修」等を受講するなど、常に自らの資質向上に努め、その研修成果を日々の教育活動の中で発揮している。

校内の学校改編ワーキング・グループのリーダーを務め、新しい学校教育システムの構築や、教育課程、特別活動の編成等に尽力している。

うちかど
内門 かおり

和歌山県立和歌山さくら支援学校 教諭

《主な功績》

保健主事や医療的ケア部長を歴任し、医療的ケア児をもつ保護者懇談会の実施や、教職員を対象とした研修会を企画する中で、勤務校における医療的ケア実施体制の充実に尽力した。

学校における医療的ケアへの対応について、その黎明期である平成25年度に、県内で初めて教員が気管カニューレ内の喀痰吸引を実施するための実践的研究においては、保健主事として医師や看護師と連携し、手順書の作成等を行い、当該行為について教員が安心・安全に実施するための礎を築いた。

平成27年度に、和歌山県特別支援学校医療的ケア運営協議会ワーキング部会の一員として、本県医療的ケア実施体制の検証作業に向けた保護者や医師等を対象にした実態調査内容の策定やその結果分析に尽力し、現在に至る本県医療的ケア実施体制の確立に寄与した。

児童生徒一人一人に合わせたきめ細やかな指導支援は、医療的ケアを含む肢体不自由教育の専門性において他の教員の模範となるものであり、同僚教員や保護者からの信頼も厚い。

こすぎ えりな
小杉 絵里奈

和歌山県立紀伊コスモス支援学校 教諭

《主な功績》

通学して教育を受けることが困難な重症心身障害のある児童生徒の訪問教育において、学習環境面でさまざまな制約のある中、日々試行錯誤を繰り返しながら、創意工夫に満ちた実践的指導力を発揮している。

重度重複障害教育の専門性向上に向けた県教育委員会主催の研修において、肢体不自由のあるこどもに関わる上で大切な点について研修講師として講義を行うなど、本県肢体不自由教育を牽引する一翼を担っている。

令和4年度から、特別支援学校の授業において要となる自立活動を推進する分掌部長として、研修や教材作成会の企画運営を積極的に行うとともに、特別支援教育コーディネーターと協同し、特別支援学校のセンター的機能として、特別支援学級担当者にその成果の普及啓発を行うなど、当該地域の専門性向上に寄与している。

児童生徒一人一人の主体的な学びを最大限に引き出すために常に学び続けるひたむきさや児童生徒、保護者に対する誠実さといった佇まいは、周囲の共感を呼び、同僚教員や保護者からの信頼も厚く、他の教員の模範となっている。

きのくに教育の匠受賞者

きのくに教育賞受賞者のうち、特に継続的な実践で成果を上げ、かつ、他の教員の指導力向上に寄与した方に対して称号を与える。

《小学校の部》

いく た
生 田

あつし
敦

湯浅町立湯浅小学校 主幹教諭

《主な功績》

学校独自の資質・能力育成表や、考えを整理して話す等の話型を示した「湯浅小学び合いの言葉」を含めた取組「湯小メソッド」の策定に当初から関わり、学校全体での取組を推進している。

児童の学習意欲を高める教材や資料の開発、学習の流れや児童の考えがよりわかる板書について研究・実践を行っている。平成30年度に社会科の指導委員を務めるとともに、地域の社会科教育研究の中心的な役割を果たしてきた。

平成29年度から、大学発教育支援コンソーシアム推進機構（東京大学C o R E F）の推進員として、知識構成型ジグソーによる「協調学習」の考え方を取り入れた学習指導について研究した。また、その成果について、研究授業を通じて地域に広く公開した。

令和2年度教職員等中央研修中堅教員研修に参加したことを生かし、オンライン授業の在り方をはじめ、学校の諸課題や研究について現職教育等で共有するなど、主幹教諭として、学校運営に欠かせない存在である。また、日々自己研鑽に励み、地域の方々との連携や保護者への丁寧な対応は若手教員の模範となっており、児童や保護者、教職員からの信頼も厚い。

和歌山県学校給食表彰受賞者

本県学校給食の普及と充実を図るため、学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた学校及び共同調理場、並びに特に功績のあった学校給食関係者及び団体に表彰状を授与する。

みなみ ばた あ き
南 畑 亜 規 御坊市立野口小学校 栄養教諭

《主な功績》

栄養教諭として、献立作成をはじめ、調理員への衛生管理や調理法を先頭に立って指導し、類まれなるリーダーシップにより安全・安心な学校給食の提供に寄与した。また、市内小学校6校・中学校5校（御坊市日高川町学校組合立大成中学校含む）各クラスへの給食・食育指導及びアレルギーを持つ生徒への相談等きめ細やかな対応を心掛けるなど、教育への熱心な姿勢と温和な性格から、給食センターをはじめ教職員、児童生徒、保護者の多くから慕われている。さらに、和歌山県学校栄養士協議会長を務め、「紀州っ子のこころとからだをつくる食育の手引」の改訂への積極的な助言・協力を行うとともに、県主催の研修会においては、「学校給食における衛生管理の取組」について実践発表するなど、和歌山県の学校給食及び食育普及活動に大きく貢献した功績は誠に顕著である。